

FIELD PLUS

no. 29
2023 01

フィールドプラス

2023年1月20日 発売

東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA 研) から、世界各地の息吹を伝える雑誌をお届けします。多様な研究分野の垣根を越えて、世界各地でフィールド調査をする研究者たちの取り組みや経験を紹介。〈世界〉をさまざまな角度から見つめます。



○ [巻頭特集] コロナ状況下のアジアで舞う・奏でる・演じる
責任編集：吉田ゆか子

- ・コロナ下の台湾の芸能と防疫——「密」を取り戻すために | 長嶺亮子
- ・インド芸能をめぐるコミュニケーションの変容——コロナ状況下のシンガポールを事例に | 竹村嘉晃
- ・学びの場における音楽活動——「密」をさける難しさをどう乗り越えるか | 小塩さとみ
- ・コロナ状況下の日本で伊勢大神楽を撮る | 神野知恵

○ あの時、あの瞬間

- ・ベトナムの地で味わった幻滅と違和感と | 栗原浩英

○ フィールドで見つけた「家」

- ・ヌーサと暮らした家 | 太田 (塚田) 絵里奈
- ・ザンジバルの「家の言葉」 | 古本 真
- ・相撲部屋の生活と環境 | 松山 啓

○ フィールドノート

- ・銃・馬具・天然塩——モンゴル語由来の借用語からみえてくる東北チベットにおける文化接触 | 海老原志穂

○ 私のフィールドワーク

- ・現地の「ありきたり」をみつめる——民族誌調査と平和研究のつなげ方 | 藤井真一

○ Field+MOLD

- ・関係性のなかに介在するもの | 本田直美

○ フィールドワーカーのよみちスポット

- ・ラオスの古寺・シームアン寺院——ラオスの歴史に何があるのでしょうか？ | 南波聖太郎

最新の第 29 号は巻頭特集「コロナ状況下のアジアで舞う・奏でる・演じる」(責任編集・吉田ゆか子)のほか、「フィールドで見つけた」、好評の「フィールドノート」など、読みどころ満載です。

バックナンバー

no. 23 [特集] 地理情報から読み解く中東の歴史と地域

no. 24 [特集] 書を求めよ！町へ出よう！漢字をフィールドワークする

no. 25 [特集] 「食」でチベットの時空を読み解く

no. 26 [特集] 言語地図からアジアの言語を探る

no. 27 [特集] デット——「負債/負目」研究の最前線

no. 28 [特集] 現地語写本にみる東南アジアのイスラーム化



no.23



no.24



no.25



no.26



no.27



no.28

入手方法

「no. 3」から東京外国語大学出版会を通じて市販しています。お近くの書店にてご注文いただくか、ネット書店にてお求めください。

また、掲載記事のPDF版がダウンロードできます(最新号と一部の記事を除く)。こちらもぜひご利用ください。

詳しくはAA研ウェブサイトをご覧ください。

<http://www.aa.tufs.ac.jp/ja/publications/field-plus/back-issue>

A4版・32頁・税込500円 [年2回(1月/7月)発行]

発行：アジア・アフリカ言語文化研究所

発売：東京外国語大学出版会

